

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行 令和元年11月15日・第24号通信
 責任者 小林 孝夫 (井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局 名和 利夫 ☎058-263-0097
 通信作成 馬場わかよ bwakayyo@sf.commu.fajp

大仏様への年賀状を12月9日から募集!

大仏様へ年賀状の出し方

年賀郵便はがきは、ポストへ

毎年購入され、作られる年賀状の中の一枚を大仏様に差し上げませんか?

*送り先住所：〒500-8018

岐阜市大仏町8

岐阜大仏様 宛

※通常年賀郵便で1月1日に配達されます。

または、投函箱の設置場所へ

切手を貼らなくても届く投函箱を大仏殿正面前に設置しています。また、岐阜市にぎわいまち社様のご協力で、市施設内に2カ所設置されており、本年より新たに1カ所追加されることになりました。専用はがきや筆記具・色用具などが用意されている場所もあります。はがきを持ち帰ってもよく、その場で書くのもお手軽です。

*設置期間：12月9日～令和2年1月7日

◎正法寺 大仏殿正面入口前

◎メディアコアモス2階 岐阜市中央図書館

◎柳ヶ瀬 あい愛ステーション

◎本年より新設場所：JR岐阜駅

アクトシアターG2階 ふれあい広場 (まちなかアート部会)

10回目の「大仏様への年賀状」に期待!

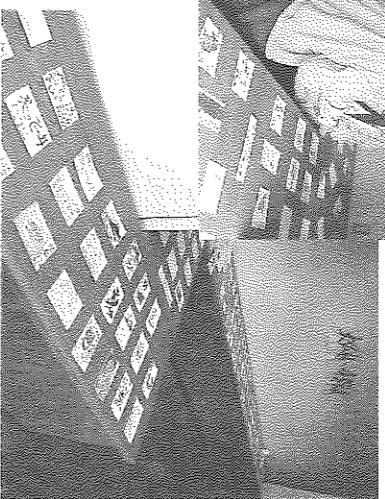
新春を飾る年賀状展はこの度、節目となる10回目を迎えます。それはまた、令和最初の年賀状でもあります。新しい年賀状に思いを年賀状という作品に注ぎ込んで、ぜひ多くの皆さまから、大仏様へ宛てた一枚をお待ちしています。井の口まちづくり会は四季が織り成す文化を大切にしています。井の口の美しい風景だけでなく、その内面の豊かな心も大切にしていきたいと思っております。恒例となっております「七夕コンサート」や「お月見アート」、そしてこの「大仏様への年賀状」などがその活動の一環であり、時代の変化により年中行事は随分様変わりしてきましたが、歴史文化が薫るこのまちで、四季の歳時を形あるものとして残していきたいと考えています。こうした継続的な活動によって年賀状の投函(出展)をお願いいたします。井の口の文化として、多くの皆さまから高まることと期待しています。

また、出展には郵送のほか無料の投函箱が設置されていますが、今回は新たに1尺岐阜駅アクトシアターG2階で森ビル都市企画(株)が設置していただき、注目度が上がります。また、出展には郵送のほか無料の投函箱が設置されていますが、今回は新たに1尺岐阜駅アクトシアターG2階で森ビル都市企画(株)が設置していただき、注目度が上がります。

「大仏様への年賀状展」を開催します
 郵送や投函していただいた年賀状は、3日間、作品として画廊光芳堂にて展示いたします。井の口エリアに位置する光芳堂は著名な作家による美術品の常設から特別展を開催するために会場を特別に提供していただいでいて、落ち着いた雰囲気になりながら和やかに作品を楽しんでいただけます。今回は、お越しいただいた方全員にアクトシアターGで使えるサービス券をお渡しできます。また、出展された方には、展示期間中ではありますが大仏様の無料拝観券をお渡ししています。なお、展示終了後の年賀状は、縁ある大仏様の胎内に毎年奉納、保管されています。



一つひとつ丁寧に
見入る来場者の様子



たくさん年賀状が並び光芳堂の画廊内

まちの風景検討部会 道路空間勉強会 (ウオークとお話)

「まち歩きで長良橋通りの景観を考える」

開催日時：12月14日(土) 午後1時30分～

集合場所：正法寺(岐阜大仏) 定員：30名

講師：高木朗義 岐阜大学工学部社会基盤工学科教授

今回の勉強会は、道路を考えます。道路は、まちにとつては大切なものです。普段、何気なく使っている道路から、まちの生活安全・景観づくりを見直します。勉強会は、二部構成になります。第一部では、井の口マップを片手に井の口のまちなかを長良橋通りを中心に講師の先生とともにウオークし、重要・参考となるポイントでお話を聞き、その場で皆さまからの疑問・質問を受けます。第二部では、会場を正法寺に移し、講師からまちなかウオークの感想、道路に係る問題点の解説、さらに、改善への提案等をお聞きします。この時には、皆さまと講師の質疑応答の時間を設ける予定です。多数の皆さまの参加をお待ちしています。井の口のまちが、今後も安全・安心・快適・便利であるために、こうした活動から得られたことを、井の口のまちづくり(り)に役立てていきたいと思えます。(名和利夫)

「大仏様への年賀状展」1月10日～12日

会場：画廊 光芳堂 時間：10時～17時(最終日16時)

年賀状を出された方が来場されますと、大仏様へご挨拶いただければ拝観券(開催期間中有効)を進呈

大仏様へ年賀状をお待ちしています
 まちなかアート部会 部会長 伊藤逸夫

年賀状展にご来場ください
 まちなかアート部会 副部会長 (光芳堂店主) 杉山範彦

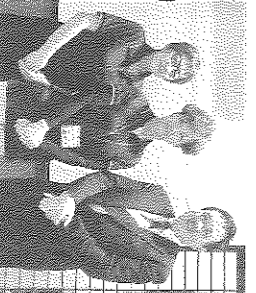
新しい年を迎えるに先立ち、私たちを温かく見守ってくださる大仏様へ感謝の気持ちを込めて、本年も年賀状の募集を行います。まちづくり会設立翌年から始めましたこの企画も10年を数え、延べにすれば実に多くの手作り年賀状をいただき、投函や郵送してくださる皆さまに感謝申し上げます。昨今では、パソコンやSNSメールが通信の主流になり、手書きで紙に向かい文字をしたためる文化が薄れてきています。せめて年の初めくらいは年賀状で挨拶をしてみませんか? その中の一枚を大仏様に差し上げ、旧年での感謝や次年への抱負を報告して、新しい年を迎えるのいいものではないでしょうか。

日本一のかご大仏として知られる大仏町・正法寺の乾漆仏「岐阜大仏」様宛に投函された年賀状を、当画廊にて展示開催しております。今回で年賀状展も第10回目を迎え、市民の皆さまにも随分定着してまいりました。年々出される方も増え、常連で来場していただいております。大仏様への愛着あふれた内容や絵手紙、版画などでいただいた皆さまと、来場された方々から歓声や感想が聞かれます。また、岐阜小学校、明照幼稚園の子供らの年賀状には、毎年その出来に感心しております。戴きました年賀状は、展示後大仏様の胎内に奉納されますことお付け加えてお知らせいたします。

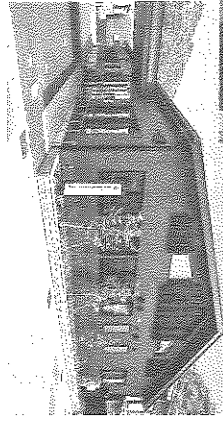
新しい宿泊室には、部屋の温度から、長良川や金華山と名付けられた真実が導き出されています。玄關脇の右側に広いフリースペースがあり、地域のひとのふれあいの場として活用できるよう、介護予防教室やクリスマス会などを開催して、地域とつながりたいと言われます。また、災害時などは職員のみでなく地域の人の手を借り、地元のお年寄りを受け入れるスペースになればと考えられています。(馬場わかよ)

にげん小規模多機能ホム1今町
 令和元年7月にオープンし、井の口の町並みにとけ込んだ造りのホムは、今町4丁目にある日建ヘルスマテリアル(株)が母体の施設です。社長の林孝弘氏は「小規模多機能ホムとは、金華・京町・明徳・本郷に1施設のみ開設が許され、少人数の登録者に、訪問介護やデイサービスの、シヨートステイといった一体的なサービスが提供できる介護施設の制度のことです」と話され、介護支援専門員で施設長の長野典子さんは「つまり、できるだけ住み慣れた自宅での生活を旨とし、365日、24時間いつでも対応可能。介護度が進んでも安心して暮らしていただけます。」

長良川や金華山と名付けられた真新しい宿泊室には、部屋の温度から、長良川や金華山と名付けられた真実が導き出されています。玄關脇の右側に広いフリースペースがあり、地域のひとのふれあいの場として活用できるよう、介護予防教室やクリスマス会などを開催して、地域とつながりたいと言われます。また、災害時などは職員のみでなく地域の人の手を借り、地元のお年寄りを受け入れるスペースになればと考えられています。(馬場わかよ)



右から、林社長、長野施設長と副施設長の宮部房子さん



縦格子が美しい、町並みに合わせたデザイン建物の建物

